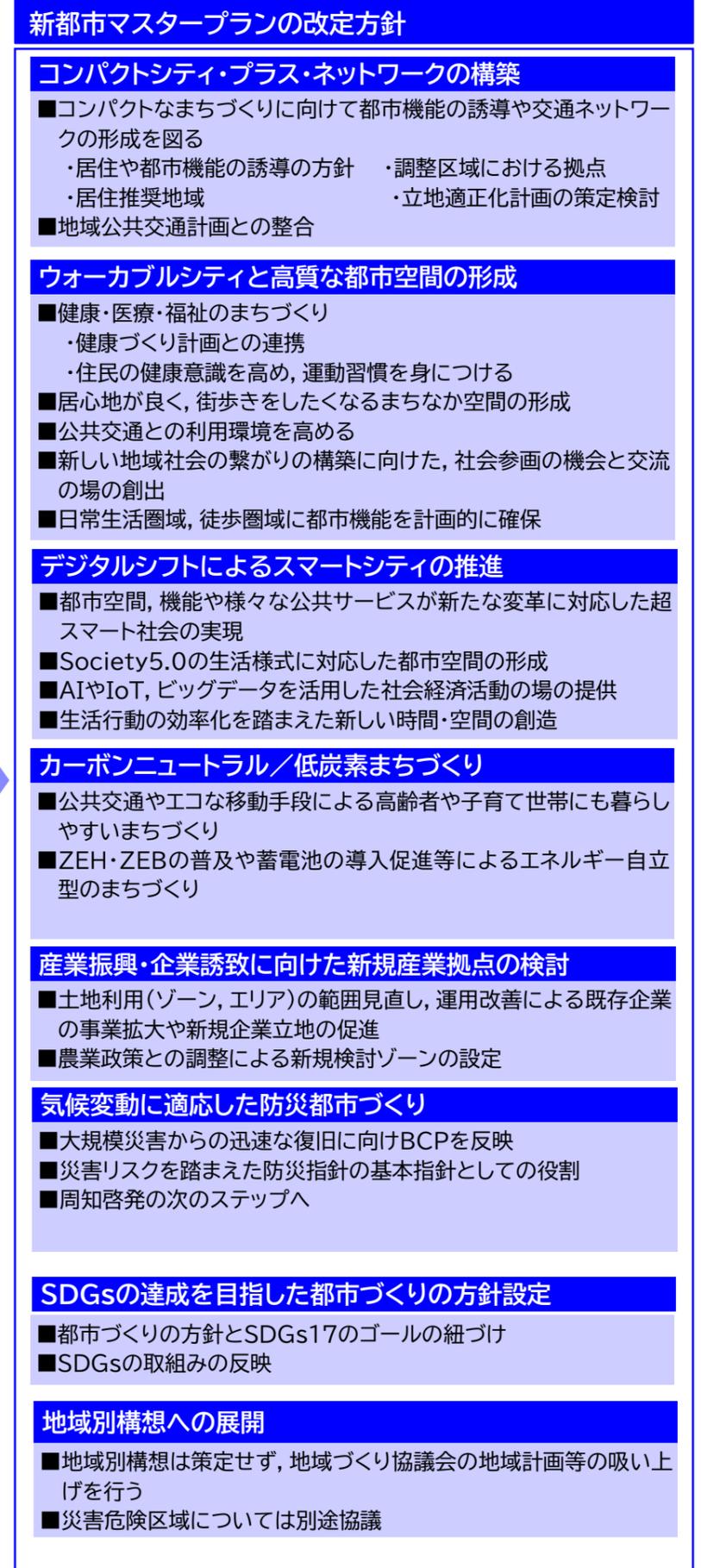
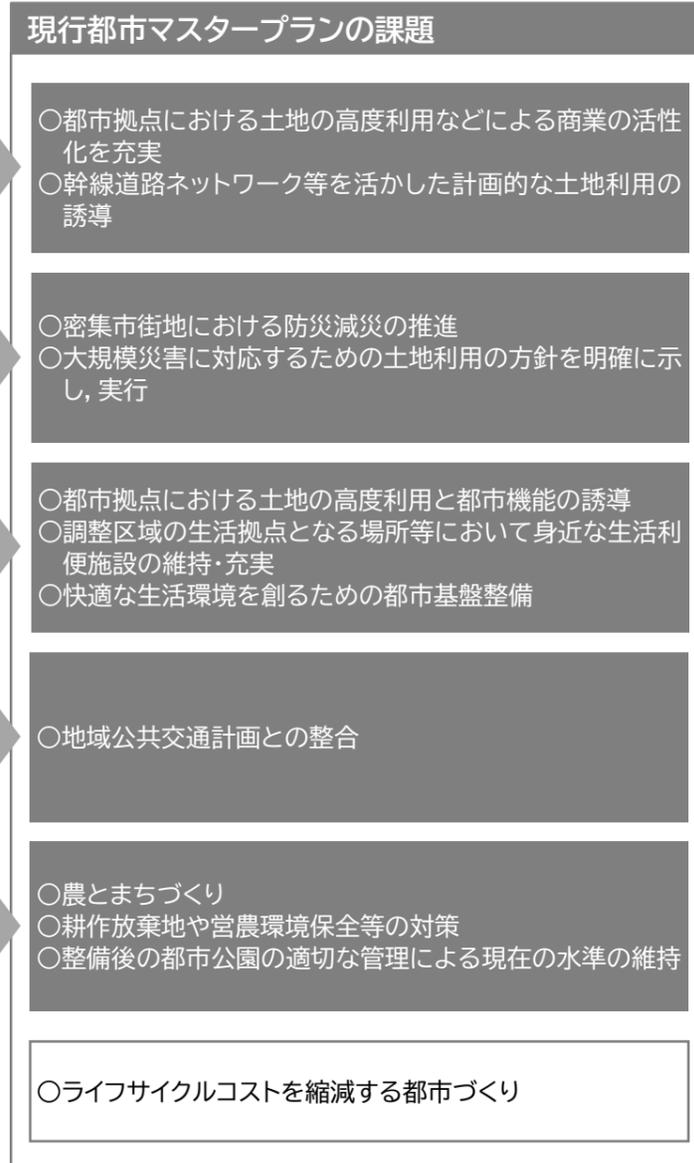
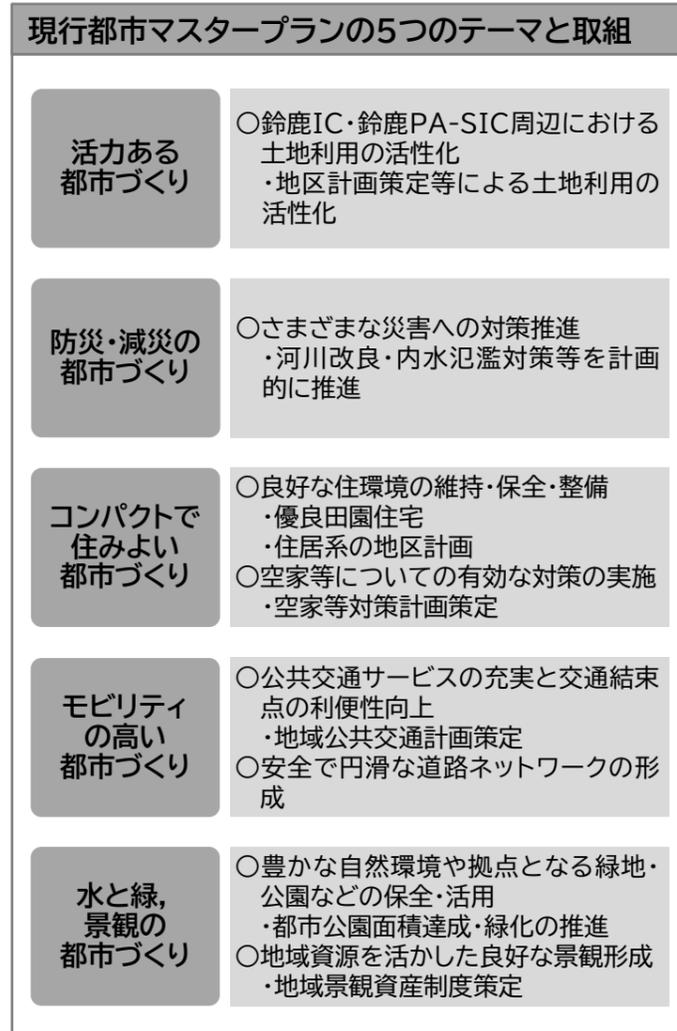
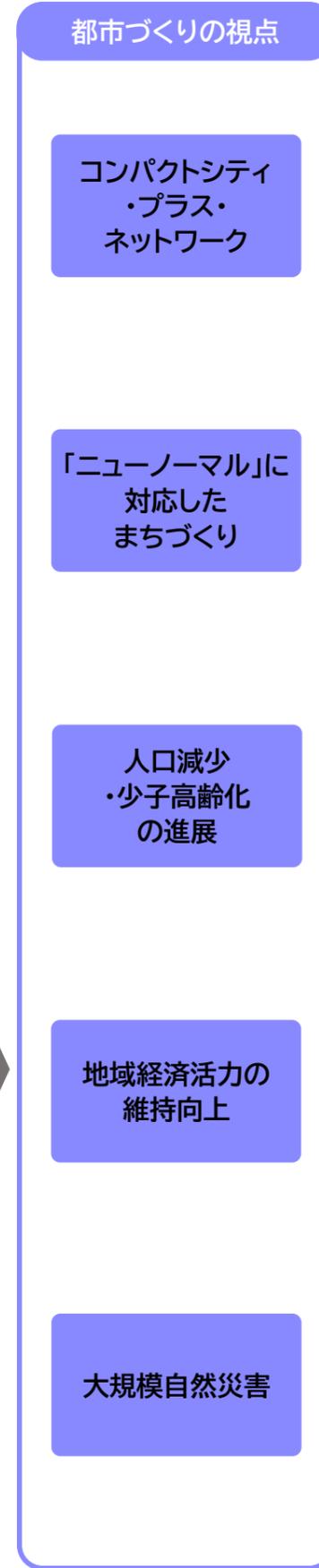
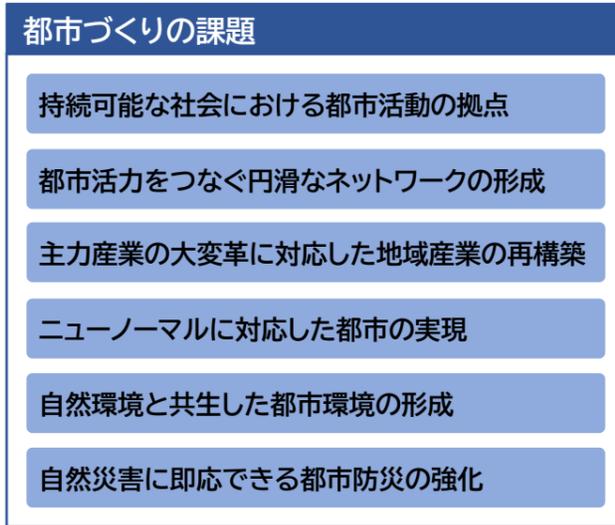


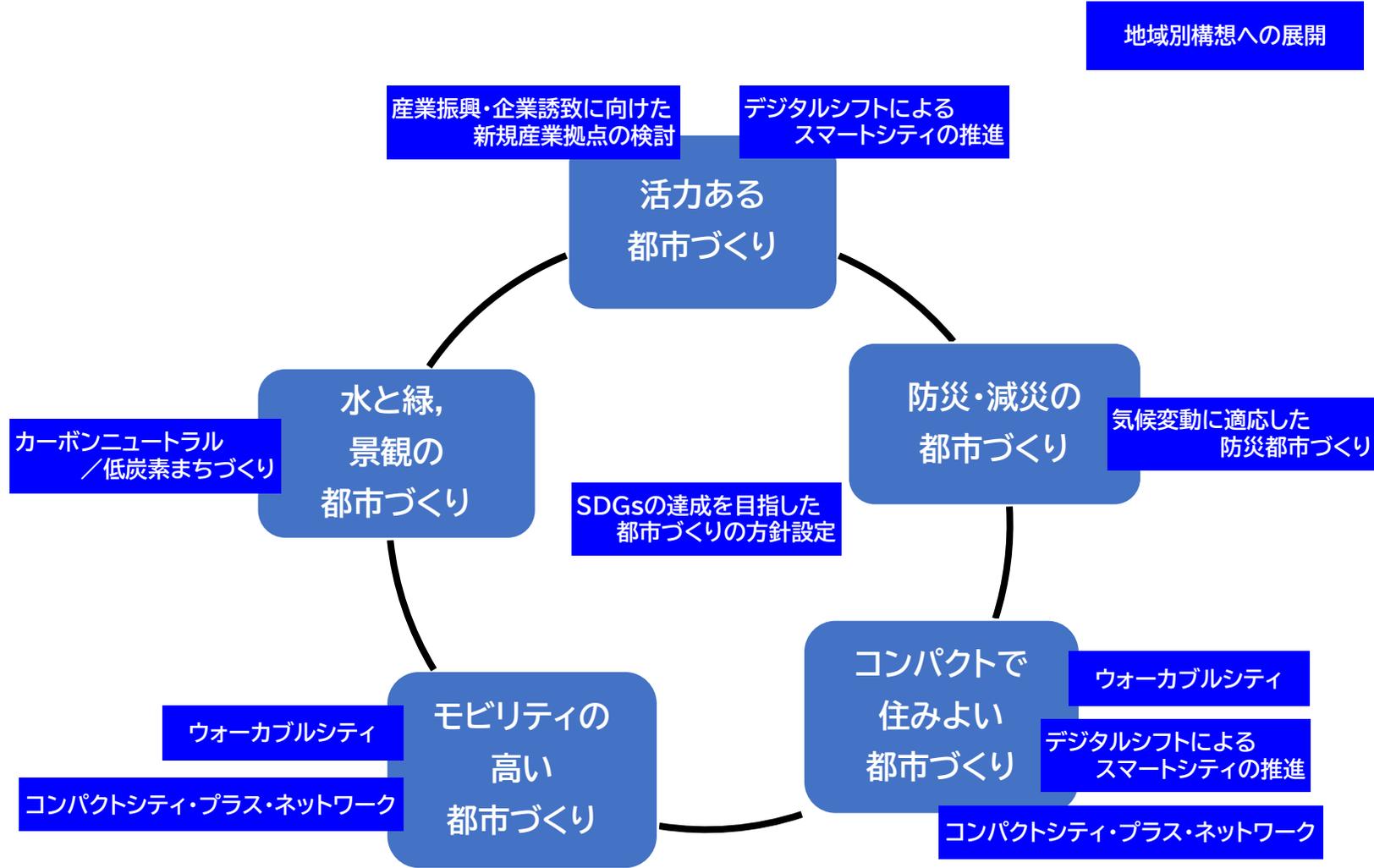
鈴鹿市マスタープラン改定

第2回都市計画審議会小委員会資料

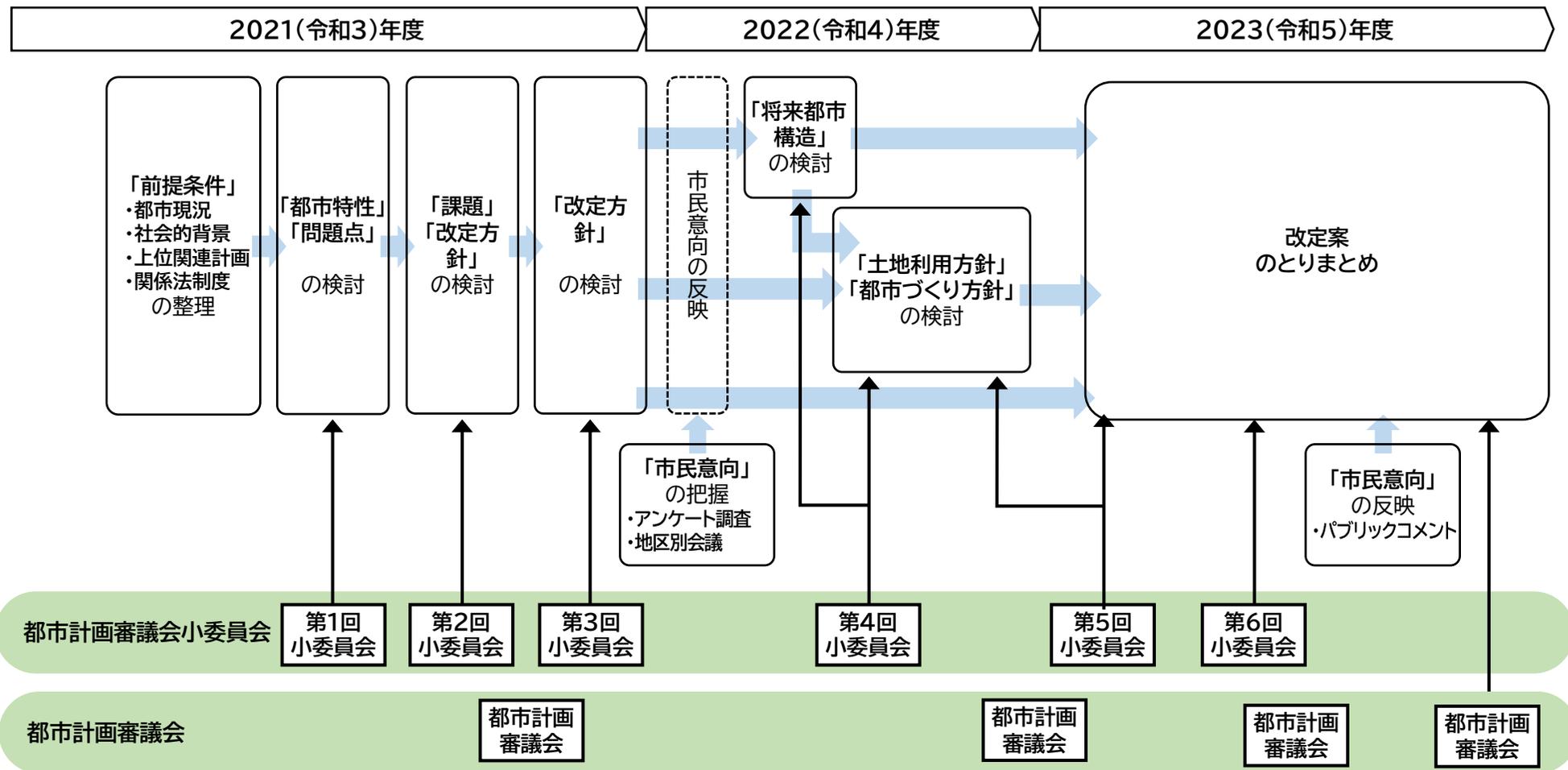
令和3年12月22日



新都市マスタープランの改定方針



□ 鈴鹿市都市計画マスタープラン改定スケジュール(案)



第2回小委員会での主な意見と対応方針

- 歴史文化の分野について、新都市マス改定方針に記載がないが、記載を検討してはどうか。
 - 現行都市マスに歴史観光拠点、地域資産を活かした良好な景観形成について記載があり、改定において現行都市マスを全面的に改定することは考えておらず、当該ページは残しますし、必要に応じて加筆等も行って行きたいと考えます。

- 現行都市マスの『5つの都市づくりの方針』を柱とする方向性は変えることなく、中身を充実させ、中身を充実させる際の視点としてデジタルシフトやウォークアブルなどが、参考資料に記載されているのですね。中身についてこれから関係者の方々と議論を重ね、5つのテーマのもとに盛り込んでいくのですね。
 - 現行都市マス『5つの都市づくりの方針』この5つの柱を軸に構成し、今後の議論においても5つの方針を軸に中身を充実させる議論を行いたいと考えます。

- 難しい言葉が多用されている。注釈をつけて文言の説明をするか、高齢者等にもわかりやすい言葉に置き換えることを検討した方がいい。
 - 分かりやすい言葉を使用し、また、注釈をつけるなど対応します。

- 農の関係するの項目は、新都市マスの改定方針のどこに入ってきているのか。
 - 資料2新都市マスの改定方針5つ目産業振興・企業誘致に向けた新規産業拠点の検討に農業政策との調整による新規検討ゾーンの設定を改定方針にあげさせていただきます。

- 地域の意見の吸い上げにおいては、農業を頑張って担っている若者、観光業の若者等そういった方の意見を上手く吸い上げることを計画していただきたい。
 - 来年度各種団体からご意見をいただく予定です。若者などにも集まっていたいただき忌憚のない意見をいただければ、将来のまちづくりについて共に考えられるのではないかと思います。